

Wood New Deal?!



環境負荷の軽減と需要・雇用の創出を基本的な考えとする日本版グリーン・ニューディール「緑の経済と社会の変革」構想が打ち出されました。木材分野でも公共工事・建築物での利用拡大、長期優良住宅の普及、省エネ住宅・建築物の導入が進められています。

わたしたちは、このような木材需要開拓のなかに確かな潮流を見出し、「ウッド・ニューディール:社会資本に国産材を大胆に活用することで、環境、暮らし、教育、文化を豊かにし、雇用を創り、内需を拡大すること」と定義しました。

土木工学、木造建築学、林業経済学、自治体関係者と共に様々な角度からこのことについて議論したいと思います。

国土緑化推進機構助成シンポジウム

ウッド・ニューディールで 木材需要を拡大するには何が必要か

午前の部

10:00~12:15

●ウッド・ニューディールとは何か?



関 良基 氏

拓殖大学 助教

●土木現場での木材利用



沼田 淳紀 氏

飛鳥建設株式会社技術研究所 室長

●公共建築物での木材利用



青井 秀樹 氏

森林総合研究所構造利用研究領域 主任研究員

日時

平成 11月7日(土)
21年 開場:9:45/開演:10:00

場所

東京大学農学部
1号館8番教室
地下鉄南北線「東大前」徒歩1分

入場無料
どなたでも参加できます。

主催

「ウッド・ニューディールで木材需要を拡大するには何が必要か」シンポジウム実行委員会

協賛

林業経済学会、日本森林学会、日本木材学会、(社)日本建築学会、(社)土木学会

後援

林野庁(予定)、(社)全国木材組合連合会、(社)日本林業土木連合協会、全国森林組合連合会、日本製紙連合会、(社)大日本山林会、(財)日本森林林業振興会、(株)日本林業調査会、日本合板工業組合連合会、(財)日本木材総合情報センター、(社)日本林業協会、(財)日本住宅・木材技術センター、(社)日本木材加工技術協会、NPO法人自然環境復元協会

午後の部

13:15~17:00

パネルディスカッション 15:15~17:00

●学校建築物での木材利用



古口 達也 氏

栃木県茂木町 町長

●新しい住宅建築が要求する木材



中村 昇 氏

秋田県立大学木材高度加工研究所 教授

コーディネーター
荒谷 明日兒

財団法人 林業経済研究所



事務局・お問い合わせ

財団法人 林業経済研究所 (担当: 大塚・青木) TEL:03-6379-5015
〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-6 高関ビル3A office@rinkeiken.org/http://www.rinkeiken.org/

Wood New Deal?!

社会資本に国産材を大胆に活用することで、環境、暮らし、教育、文化を豊かにし、雇用を創り、内需を拡大すること

本シンポジウムの趣旨

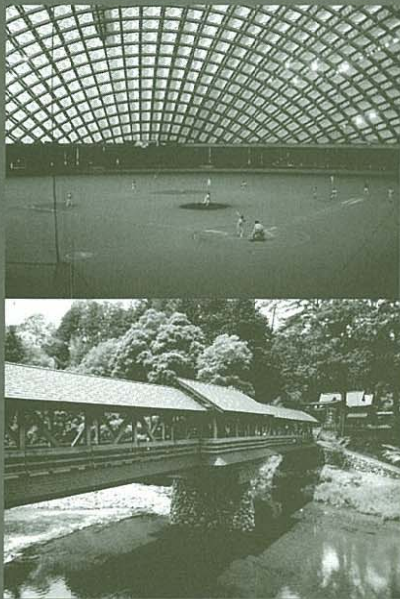
●2008年9月以降、金融不安を発端とした世界同時不況のなか、各国政府は「市場の失敗」を修正する目的で、大規模な公共投資を伴うグリーン・ニューディール政策（Green New Deal Policy）を打ち出しています。

●グリーン・ニューディール政策とは、環境・エネルギー問題を解決するため、公共投資や民間投資の拡大によって、技術開発や製品普及を促進することで新しい需要を開拓し、雇用を創出しようという構想です。国連の潘基文事務総長やアメリカのオバマ大統領がこれを積極的に推進しようとし、日本でも環境負荷の軽減と需要・雇用の創出を基本的な考えとする日本版グリーン・ニューディール「緑の経済と社会の変革」構想が打ち出されました。

●森林・林業分野は、森林が公益的機能を有することや、森林整備の総事業費に占める人件費が大きいことから、1920～30年代大恐慌の際にも各国政府が造林事業を大々的に実施するなど、失業対策事業の受け皿のひとつになってきました。今回の「緑の経済と社会の変革」においても、地球温暖化防止に向けた取り組みとして、緑の公共事業による人と環境に優しいインフラ整備などが唱われています。また同時に、住宅を含めた消費、生産設備や産業構造に対する政策によって、環境対策を行うとともに、経済危機を克服しようとしています。

●森林の経済的機能の発揮が不十分であることが、公益的機能にも影響を与えている状況下で、いかに自国の森林を利用するかが環境負荷軽減の切り札であり、国産材需要の拡大が基本になります。そして、これが雇用の拡大にもつながるのです。

●「緑の経済と社会の変革」では、学校の木造校舎化、国や地方公共団体での間伐材や合法性が確認された木材の利用拡大、長期優良住宅の普及、省エネ建築物の導入を目指しています。これらを国産材需要拡大の起爆剤とするには、何が必要となってくるのでしょうか。土木工学、木造建築学、林業経済学、自治体関係者をお招きし、皆さんとともに大いに議論したいと思います。



(写真提供:佐々木 貴信氏・飯島 泰男氏)

プログラム

- 9:45 開場
10:00 開会(福島康記 林業経済研究所理事長
/土屋俊幸 シンポジウム実行委員会)
10:15～10:55 関 良基 氏(拓殖大学)
「ウッド・ニューディールとは何か？」
10:55～11:35 沼田 淳紀 氏(飛鳥建設株式会社技術研究所)
「土木現場での木材利用」
11:35～12:15 青井 秀樹 氏(森林総合研究所構造利用研究領域)
「公共建築物での木材利用」
12:15～13:15 休憩
13:15～13:55 古口 達也 氏(栃木県茂木町町長)
「学校建築物での木材利用ー茂木町は何故木材を使うのか?ー」
13:55～14:35 中村 昇 氏(秋田県立大学木材高度加工研究所)
「新しい住宅建築が要求する木材」
14:35～15:15 休憩
15:15～17:00 総合討論(座長:荒谷 明日見 財団法人林業経済研究所所長)

終了後、18:00より懇親会を予定しています。

会場地図



どなたでもお気軽にご参加ください。

シンポジウム実行委員会

(土屋俊幸/荒谷明日見/大塚生美/久保山裕史
/関 良基/永田 信/山本美穂)

事務局・
お問い合わせ

財団法人 林業経済研究所 (担当:大塚・青木)

〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-6 高関ビル3A TEL:03-6379-5015
office@rinkeiken.org/http://www.rinkeiken.org/